

学校の沿革（抄）

- 明治 5年 富塚村、二ツ寺村の2か所に義校が創立される
 6年 富塚村に第五番中学区内四十八番小学習静学校が置かれる
 花正村に第五番中学区内三十八番小学春秀学校が置かれる
 10年 習静学校が富塚学校と、春秀学校が金花学校と改名される
 13年 富塚村の富塚学校より、二ツ寺村に分離され、二ツ寺学校が設立される
 金花学校から花長村が分離し、金岩村と合同して金岩学校が増設される
 また、金花学校は花正学校と改名される
 20年 二ツ寺学校、富塚学校、花正学校及び金岩学校の一部が合同し、尋常小学二ツ寺学校が設置される
 25年 町村制施行により、正則村立正則尋常小学校と改名される
 39年 正則村、蜂須賀村、篠田村が合併し、美和村ができる
 40年 美和村二ツ寺尋常小学校と改名される
 大正 6年 美和村立正則尋常小学校と改名される
 昭和 16年 美和村正則国民学校と改名される
 19年 太平洋戦争激化のため、二ツ寺月之宮境内に学童用防空壕が掘られた
 都市からの疎開児童が増加した
 22年 美和村立正則小学校と改名される PTAが発足する
 33年 町制施行により、美和町立正則小学校と改名される
 35年 校旗の樹立式が行われる
 38年 校歌が制定される
 40年 鉄筋3階建て校舎の竣工式が行われる
 43年 南東校地435坪（1325.5㎡）を拡張する
 60年 児童数増加により、東小学校が新設され、木折地区が移る
 文部省委嘱「勤労生産学習研究推進校」として研究発表会を行う
 平成 9年 コンピュータ教室を設置する
 12年 文部省から学校給食優良学校の表彰を受ける
 16年 コンピュータ教室のPCを入れ替える
 19年 南校舎耐震補強工事を行う
 22年 美和町、七宝町、甚目寺町が合併し、あま市ができる
 あま市立正則小学校と改名される

学 校 紹 介



あま市立
正則小学校



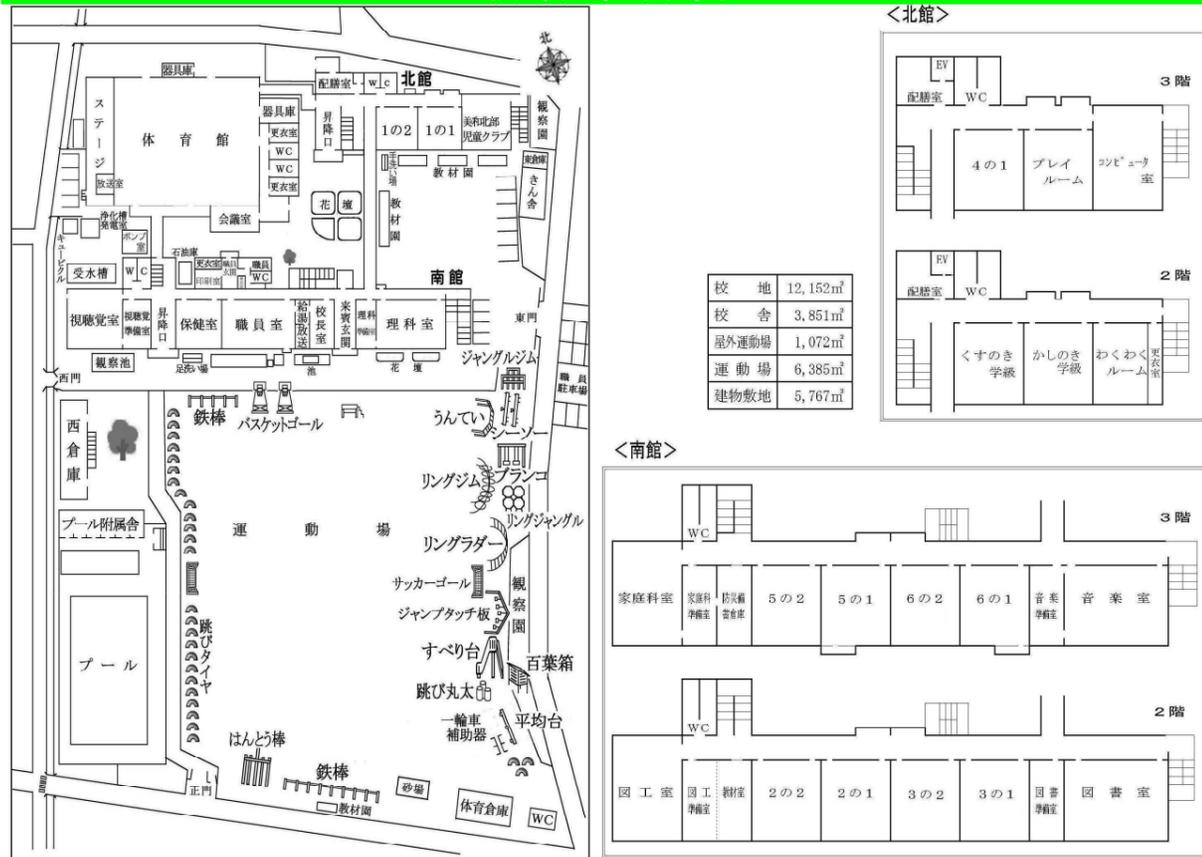
〒490-1207

愛知県あま市二ツ寺三本松46

TEL 052-444-1073

FAX 052-444-4534

校舎平面図



あま市の二ツ寺地区は名古屋市の5キロほど西にあり、住宅地と田園風景が見られるのどかな地区である。西方を南北に県道一宮蟹江線（尾張中央道）と県道甚目寺佐織線が、南方を名鉄津島線が通っている。校区は、北を稲沢市と接している。旧美和町の花である「パンジー」の栽培も校区で行われている。また、戦国武将である福島正則公の生誕の地であり、その記念碑も校区にある。本校の正則小学校の名前は、この福島正則の名前をとってつけられたものである。「夢をもち 未来を切り拓く 一かしく あたたく たくましく」を教育目標に掲げ、年間の様々な行事や活動を通してその達成に取り組んでいる。また、縦割り活動にも力を注ぎ、児童に「思いやりの心」「感謝の心」を育てている。

校歌
見渡す限り ひろびろと
遠い伊吹の 向うから
野は いっぱいに 緑の風
正則の子は みんな元気
そうみんなで 伸びるのだ

素直な心 いきいきと
今日も 手組んで
野は いっぱいに 光の波
正則の子は みんな元気
そうみんなで はげむのだ

足並み軽く はつらつと
明日の日本に よびかける
野は いっぱいに 希望の歌
正則の子は みんな元気
そうみんなで 進むのだ

